

森林居住環境整備事業

【平成21年度予算額 25,022(26,380)百万円】

事業のポイント

森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、森林整備を支える林業就業者の多くが居住する山村地域を活性化するとともに、広く国民一般の森林と森林整備の重要性に対する理解を醸成しつつ、森林整備の基盤づくりを推進します。

(我が国の山村の現状)

- ・山村地域が占める森林面積は、全国の森林面積の61%
- ・山村地域の65歳以上の高齢者が占める割合は28%(全国17%)

政策目標

2007年～2012年の6年間で330万haの間伐を実施し間伐の遅れを解消
100年先を見据え、広葉樹林化、長伐期化、針広混交林化等多様な森林づくりを推進

<内容>

1. フォレスト・コミュニティ総合整備事業

森林整備の基盤となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備や林業施設の基盤整備を実施します。

【フォレスト・コミュニティ総合整備事業 9,022(9,480)百万円】

2. 里山エリア再生交付金

居住地周辺の森林及び居住基盤の整備を総合的に実施し、個性的で魅力ある里山エリアの再生を支援します。

【里山エリア再生交付金 9,900(9,900)百万円】

3. 山のみち地域づくり交付金

環境との調和を図りつつ、奥地森林地域の骨格的な「山のみち」の整備等を地域の創造力を活かしながら総合的に実施します。

【山のみち地域づくり交付金等 6,100(7,000)百万円】

<事業実施主体>

森林所有者、森林組合、都道府県、市町村等

<主な補助率>

3/10(造林) 50/100等(林道)

[担当課：林野庁整備課]